

## 記者会見概要

- 【日 時】 平成 23 年 10 月 28 日（金） 14：30～14：45  
【場 所】 都道府県会館 6 階 知事室  
【出席者】 大村円高是正・デフレ対策 PT リーダー（愛知県知事）

### （大村円高是正・デフレ対策 PT リーダー）

本日、私ども全国知事会の円高是正・デフレ対策プロジェクトチームは、改めて円高の是正に向けた緊急声明を発表させていただきます。

なぜ今日なのかということですが、今日、国会に 10 兆円を超える第 3 次補正予算が提案され、総理の所信表明と、財政演説が併せて行われております。また、このところ、まさに連日、市場最高値を更新している。歴史的な円高が止まりません。その中で、大変な危機感を我々は持っております。従って、今日、緊急声明を発表させていただきます、改めて、政府・日銀に対しまして、可及的速やかにさらに効果的な円高対策を講じていただくよう強く要請をしたいと思います。

お手元にお配りしております緊急声明にありますように、我が国の景気は持ち直しているものの、この円高が非常なリスク要因だということ、景気の下振れだけではなく、産業の空洞化、地域経済の空洞化、雇用の喪失が懸念されるということがございます。

こうした中で、全国知事会は、私が 7 月の全国知事会議で申し上げ、8 月 17 日に、このプロジェクトチームを開催し、政府・日銀に対し、緊急アピールを行いました。国際協調の下での為替介入、産業の空洞化対策、金融緩和の継続、さらに、これまでの前例に囚われない思い切ったマクロ経済運営、インフレターゲットも含め、さらに日銀が資金供給、金融緩和することを含め、提言をさせていただきました。しかしながら、その後も為替相場は円高に振れております。ドルで言えば 75 円台、ユーロもリーマンショック以降、5 割に近い水準の円高ということになっています。大変危機的な状況だと思います。

今日、政府は国会に予算を提案いたしました。第 3 次補正予算を速やかに成立させていただきたいということを強く要請したいと思います。この中には、ご案内のように、空洞化対策、中小企業対策、雇用の確保、そういったものが盛り込まれておりますので、早期成立を要請したいと思います。

しかし一方で、政府の円高総合対策の中には「痛みの緩和」といったことはありましても、円高自体を是正するロードマップが十分ではない、明らかではないと思います。こうした具体的なロードマップを示していただきたい。そうしないと、市場最高値を更新している円高が止まらない。企業の海外への移転も止まらない。そういう中で、昨日、日銀が長期国債を追加的に 5 兆円買入れるということを発表しました。このことは私は

評価したいが、残念ながら、それがマーケットに十分響いていないというのも現実だと思います。前例に囚われない思い切ったマクロ経済運営というのを8月に要請しましたが、改めて、要請をしていきたい。もっと思い切ったことを、政府・日銀が一体となってやっていただきたい。これを強く要請したいと思います。

先ほど、五十嵐財務副大臣に要請をいたしました。この半年間、この問題について、常に申し上げてまいりました。五十嵐さんも地元が埼玉県狭山で「ホンダ」があるわけです。日本だけでやれることはもちろんやらなければならないが、国際的な協調が大事だということ、特に、国際的な金融の在り方について、国際間で協調して、合意をして行動することが必要だと言うことを私が申し上げ、五十嵐さんも、同感だと言っていました。欧州の問題がまだまだ不透明ではありますが、早く片をつけ、国際協調の中で、新たな金融の枠組みの在り方を検討して、為替の安定を実現していただきたい。私ども、全国知事会は、地域の経済、雇用、中小企業、そうした産業施策に責任を持つ立場ですから、それに全力で取り組むことは当然のことですが、いかんせん為替相場というグローバルなことにつきましては、国が責任を持ってやっていかなければいけないと思います。

我々は、地域経済、地域の雇用を守るために全力でがんばりますので、国の方も、是非、今日提案された第3次補正予算は速やかに成立をさせていただきますとともに、それに加えて、円高を止めるためのマクロ経済運営、国際協調、新たな金融の枠組みの在り方を作ることに全力で取り組んでいただきたいということを強く要請したいと思っております。

## <質疑応答>

### (記者)

8月の緊急アピールから2ヶ月という短期間でということも言えると思うが、矢継ぎ早に直接要請を行うということは、国の対応に対して、全国知事会としてどういう思いがあるのか。

### (大村円高是正・デフレ対策PTリーダー)

7月から円高が加速し、地方の経済は悲鳴を上げていると言っても過言ではないと思います。現実には、我々は地域でいて、地域の経済産業と常に一緒に活動していく中で、どんどん空洞化が進んでいく。企業が海外に展開をしていく、雇用が失われていく、こういうことを目の当たりにして、なぜこれが止まらないのか、なぜこれが続くのか、そういう思いを強くしております。従って、8月に緊急アピールをさせていただきました。9月、10月とフォローしてまいりましたが、臨時国会が始まり、予算審議が始まるその機会を捉えて、今日こういった要請をしたいということで、プロジェクトチームのメ

ンバーのみなさんと相談させていただきました。

なお、今日ということの意味は、3次補正を早く成立させてほしいということと、我々が申し上げた趣旨を踏まえて、さらにパンチのある施策を来年度の当初予算、必要であれば、3次補正からさらに追加の対策も打っていただきたい。11月、12月は、毎年恒例の予算編成と税制の議論ですから、そういう中で、円高是正・デフレ是正に向けて十分な政策を作っていただきたい、そういう意味で要請に参上したわけです。

**(記者)**

アピールを8月に出した後の国の円高への対応については、プロジェクトチーム、あるいは、知事会としては、どういうふうに捉えているか。

**(大村円高是正・デフレ対策PTリーダー)**

政府・日銀も努力はしていただいている、その点は評価したいと思います。しかし、我々の政治の世界では、政治経済は結果が大事なので、こういう結果であれば、さらに奮闘努力していただきたいと申し上げたいと思います。

**(記者)**

今回要請をして、素早いアクションが国から出でこないようであれば、さらに要請を続ける考えはあるか。

**(大村円高是正・デフレ対策PTリーダー)**

あります。これからさらに具体的な個々の政策マター、政策イシューがあると思いますから、そういったことも含めて、引き続き必要な施策、今度はある程度絞ってかもしませんが、引き続き、要請し行動していきたいと思っています。

**(記者)**

前例に囚われない思い切ったマクロ経済政策の運営を検討してほしいと言っているが、例えば、プロジェクトチームのこれまでの議論の中で、政府に対し、具体的にこういう政策をしてほしいという議論は出たか。

**(大村円高是正・デフレ対策PTリーダー)**

8月17日の緊急アピールは、「1. 為替政策」、為替の協調介入「2. 産業空洞化対策及び雇用対策」、「3. 金融緩和政策の強化」、「4. 「非常事態」に対処する新たなマクロ経済政策運営の検討」ということになっておりまして、4番目の項目については、例えば、1つ目は「実質ゼロ金利政策継続に係るコミットメントを強化すること」、2つ目は「復興債を出す場合にはそれを日銀に引き受けてもらうということ」、3つ目が

「インフレターゲットの導入」、4つ目が「金融政策の理念に、物価の安定に加え、アメリカのように、『雇用の最大化』ということを入れること」といった4点を具体的に例示しております。私は、実質ゼロ金利の継続、これは当たり前だと思いますが、さらに、復興財源を調達するために復興債を発行するのであれば、明示的に日銀に引き受けてもらおう、暗黙のうちにマーケットから買っているから良い、そういう話ではなく、明示的に日銀直受けをすると、そういうことを宣言するだけでも政府・日銀の意図が伝わるので、それをやるべきだとかねてから申し上げておりますし、そのことを8月の緊急アピールに入れております。それから、インフレターゲット、前例に囚われない施策についても、この際そこに踏み込んでやっていただきたいと考えております。

以上